

これからの

地域・まちづくりの共創にむけて

■ 総合計画における「まちづくりの基本姿勢」

平塚市では、2016年度から2023年度を計画期間とした総合計画において、将来にわたり「市民が幸せに暮らすことができるまち」の実現を目指し、SDGsを意識した持続可能な行政運営の推進に向けたまちづくりを展開してきました。

2024年度から2031年度を計画期間とした新たな総合計画においては、2070年までの人口推移を意識した上で、高齢者数がピークを迎える2040年頃を見据えて策定されています。また、市民ワークショップで共有したまちの将来像である「**私たちが主役のひらつか**」を未来につなぎ、市民、企業、行政それぞれが主役となって、「**市民が幸せに暮らすことができるまち**」の実現を目指し、以下のようにまちづくりの基本姿勢を掲げています。特に、これからの社会経済環境の変化を見据え、組織の在り方、協働の在り方も含めたチャレンジの姿勢を打ち出しています。

総合計画における「まちづくりの基本姿勢」からの抜粋

1 人口構造や社会の変化に対応したまちづくり

新たな変化や課題に対して受け身になるのではなく、組織の縦割り意識を排除し、失敗を恐れずに対応するとともに、その結果から速やかに改善点の発見や別の解決策への移行を繰り返すことで、機動性の高い施策を展開します。

2 効率的・効果的な行政運営によるまちづくり

人材の育成や確保、職員の能力を発揮できる制度・組織づくりなどにも取り組むことにより、人・組織の活性化や最適化を図ります。

3 愛着を持てるまちづくり

市民や事業者などと連携して本市の魅力を効果的に発信するシティプロモーションを推進し、市民のまちに対する愛着の醸成と対外的なイメージの向上を図ります。

4 市民などとの協働によるまちづくり

市政情報の積極的な発信や市民、企業、大学、各種団体との情報共有などの取組を進めるとともに、多様な方法による市民参加や知識、経験、技術などを活かす協働の機会を提供します。

5 行政間の連携によるまちづくり

国・県の政策を踏まえ、直面する課題に対して適切に対応することも必要となります。このような背景を同じくする自治体と、お互いの行政運営の効率化を図り、連携して課題解決に取り組めます。

■ “これまで”を振り返り、“これから”を考えるへ！

私たちの平塚市は、海、川、里山と肥沃な田園が広がる環境のなか、東海道宿場町をルーツに、高度経済成長を支えた多くの製造業の立地や商都平塚の復興の象徴ともなった七夕まつりを交流・活力の原動力に、まちのかたちを整え、資源や資産を活かす工夫をしながら、暮らしの安全・安心、健康・元気を高めてきました。



10年後、平塚市は市制施行100周年を迎えます。

SNSはさらに進化し、暮らしのなかでの様々な事象への対応や課題解決にAIが果たす役割は大きくなっていくことが予想されます。一方で、**未知なものへの想像力、ひとそれぞれの想いをかたちにしていくデザイン力、多様性を受け入れながら人と人をつなぐ力はますます重要になっていく**と思われます。

わがまちを愛する想いと顔が見える対話がまちをつくり、そして世代を超えてみんなで心地よい汗をかくことがまちを磨いていく源泉であることは変わらないのではないのでしょうか。

平塚の資源・資産のルーツ・原動力

農・食の資源
街道文化、保養地文化

海、川、田園、丘陵
旧海軍火薬廠跡地

多様な教育機関
(農・商・工・特別支援)

“これまで”のまちの変化

- 1950年～ 商・工業の成長、平塚七夕（まちづくり拡大の原動力）
- 1970年～ 多様な文化公共施設（周辺に先駆けた文化の発信）
- 1990年～ 総合公園、ベルマーレ/ビーチパーク（健康・スポーツの発信）
- 2010年～ 花菜ガーデン、湘南平リニューアル（資源・資産の刷新）

“これから”の視点

若い世代の想像力、デザイン力、多様性・リアルコミュニケーション、AI化との共生

みんなの想像力を創造力に！

- 自分たちが暮らす地域の資源・資産・立地条件の再認識と活用
- こうしたいということに知恵と工夫でチャレンジしていく

平塚市では、平成25年度より、湘南NPOサポートセンターとの協働で「ひらつか地域づくり市民大学」を開講し、地域の様々な個人や団体をつなぎ、地域課題などに住民自らが取り組み、住みよい地域づくりを進めていくための人材の育成や地域活動に携わる人材のすそ野を広げ、“協働”社会の基礎をつくる取り組みを進めてきました。

それから10年が経過し、これからは、次世代へつなぐ地域づくりに向け、「誰もが関わりたくなる・参加したくなる地域活動とは」という原点を再確認しながら、地域、行政それぞれがその役割と主体性を活かし、相乗的効果を発揮する“共創”へと移行していくことが不可欠ではないでしょうか。

若手行政職員の声

- 地域のニーズや課題に関する部局間の情報共有が大切
- チャレンジしていくための次世代職員の部局を横断したチーム・環境づくりが大切
- 同じ目的の活動は、統合・再編を検討し、時代に合った企画・運営を
- 地域の実状に合った地域団体の役員数、会議数へ見直しを
- 公民館職員が自ら学びを重ね、市の考えや情報等を伝えながら、課題解決に向かって走る地域団体に寄り添う「伴走者」に
- まちへの愛着を育み、地域活動に参加したくなる情報発信・体験交流を積極的に支援



市民の声

- “これまで”にとらわれない“これから”のための楽しい活動・行事へ
- 様々な世代が参加しやすい、動きやすい場づくり、役割づくりへ
- 世代を超えた地域のつながり・交流を生み出す公民館の利活用
- 地域の安全・安心・元気の維持・向上のための資金調達と受け皿づくりへ



企業・学校の声

- 地域行事・活動を知ること、地域への愛着と社会への貢献を学ぶ機会を
- いざという時を見据えた地域とのつながり・連携を大切に
- 地域活動に関わる“ひと”を育て、“スキル”を活かせる協力体制へ



共創へのキックオフ 共にチャレンジ、共感できる「わがまち運営」へ！

地域の資源を活かし、自分たちがこうしたいと思うことに向けて、共にチャレンジ、共感できる「わがまち運営」は地域に何をもたらしていくのでしょうか。

主体的に地域活動に取り組むことは、私たち自らが暮らす地域・まちの価値を高めていくことにつながっていくと思います。また、そのような「地域」には、ひと・コト・元気・笑顔が集まり、未来の子どもたちにとっても愛着の持てる地域・まちになるように思います。

様々な地域・まちづくりのパートナー（行政・企業・大学・NPO など）との連携・協働を深め、幸福感を醸成できる持続可能な地域運営を目指していきませんか？

これからのわがまち物語へ

私たちの先達はその時々を乗り越え

今のまちをつくってきました。

そこには大切な物語があります。

わがまちを愛する気持ち

子や孫に引き継いでいきたい思いを紡いできた足どりです。

わがまち物語という終わりなきドラマづくり。

舞台は？脚本家は？スポンサーは？そして主役は誰か？

楽しいところに人は集い、元気が生まれます。

想いを形に！知恵を力に！できることからしたいことへ！

人のつながりを大切に、共に考え、行動することから

これからの“わがまち物語”をつくっていきましょう！



平塚市の地域・まちづくりに関する各種計画



● 平塚市総合計画（2024年2月策定）

高齢者数がピークを迎える2040年頃を見据え、市制100周年を展望して、市民と市が共通の理念を持ち、まちづくりを推進していく最上位の計画です。



● 平塚市各課が所管する個別計画

総合計画の実現に向け、各課が所管する個別計画があります。

平塚市の地域・まちづくりに関する各種条例



● 平塚市自治基本条例（2006年施行）

自治の基本理念やまちづくりの指針のもと、市民、議会、行政の基本的なルールを定めています。



● 平塚市市民活動推進条例（2002年施行）

魅力と活力あふれる地域社会の実現に寄与するための市民活動を促進する条例で、これにもとづく支援措置として「市民活動推進補助金」があります。



● 平塚市まちづくり条例

まちづくりの基本理念をはじめ、まちづくりを市民、事業者、市が協働で進めるためのしくみや手続き、基準などを定めています。

平塚市の地域・まちづくりを考えるうえでの参考資料



● 平塚市市民意識調査（2016年～）

市民が市政やまちづくりに対してどのような意見や要望を持っているかを調査しています。



● ひらつかわくわくマップ（地理情報システム）

地域のこと知るうえで基礎となる地理情報・データを利用できます。

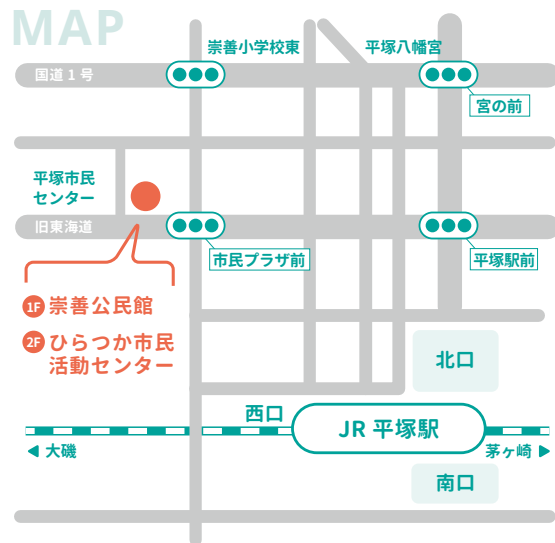


● 平塚市みんなのまちづくり事例（2019年度～）

平塚市協働のまちづくり基金（市民活動推進補助金）を活用し、地域課題（まちの困りごと）解決を目的とした活動を紹介しています。

● ひらつか市民活動センター (2003年開設)

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動している人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援する施設です。



● 湘南NPOサポートセンター (2011年NPO法人登記)

湘南NPOサポートセンターは、組織や制度の壁を越え、人々がつながり共に行動する市民社会をつくるため、NPO・自治体・企業・大学などと連携し社会課題・地域課題の解決に向けて活動しています。



- ※ひらつか地域づくり市民大学 共催 (2013年スタート～)
- ※ひらつか市民活動センター 協働運営 (2017年スタート～)
- ※ひらつか元気地域事例集 発行 (2016、2017年)

MEMO

ひらつか地域活動の 仕組みづくり

note



令和6（2024）年3月 発行

発行

● 平塚市市民部協働推進課
〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号
TEL 0463-21-9618（直通）

● 湘南NPOサポートセンター
〒259-1517 神奈川県平塚市長持568-5
TEL 070-6662-2455

※この冊子は、令和3～5年度平塚市市民提案型協働事業「社会環境の変化に対応した地域活動の仕組みづくり支援事業」において作成したものです。